

## 実践報告資料

研究テーマ 『 多様性を認め、自他の存在を大切にできる生徒の育成 』

研究内容 【 (1)、(2)、(3)、(4) 】

学校名 (加古川市立平岡南中学校)

**ア 人権教育としてのねらい**  
 一人ひとりの人権を大切にし、お互いを励まし合う仲間づくりを通して、人権の大切さを自分の価値観として身に付け、生活の中に生かしていく実践的な態度を育てる。

**イ 研究の概要**  
 ヒラナン学や情報モラル教育を通して、自分自身の客観的理解や他者意識の育成と自律した自分づくりを行い、お互いを尊重し合う仲間づくりを実践する。さらに部落差別（同和問題）や様々な人権問題、多様な性の在り方から考えを深め、差別を許さない心、お互いを認め合う心を育み、差別や偏見のない社会の実現に向けて、主体的に取り組もうとする意欲や態度を育てるとともに、日常生活での実践力を養う。

教科等	各教科（家庭科）	特別の教科 道徳	総合的な学習の時間	特別活動
指導者	3年担任 推進教員	2年担任 推進委員	全教職員	全教職員
実施日	11月13日	1月17日	11月8日	1・2学期
取組名	赤ちゃん先生	1・17集会 東日本大震災から学ぶ	人権オープンスクール	ヒラナン学 ～人を知り、楽になれば、何でもできる～
目標	赤ちゃん先生と探究学習を進める中で、命の大切さ、尊さについて考えを深め、自他を思いやる心を育む。	相手の立場や気持ちに配慮し、差別や偏見のない社会の実現に向けて、自分の行動や言葉に責任をもち、日常生活で実践する心を育む。	性の多様性について考えを深め、他者を尊重する心を育む。	自分自身の客観的理解・他者意識の育成・自立した自分づくりを実践する。
資料名		「温かさを分け合っ て」(全国人権擁護委員 連合会)	『きらめき』P. 3～7 (県教育委員会) 「多様な性」について 学ぶ(全3回+講演会)	ヒラナン学(全8回)
指導内容 や指導方 法の工夫 等	赤ちゃん先生の講義を受ける。 赤ちゃんの1日の生活について学ぶ。 主体的に語りかけ、寄り添い、関わることで、思いやりの心を育み、命の尊さを学ぶ。	東日本大震災で原発事故による風評被害について知り、復興に向けて尽力された被災地の取組から、差別や偏見に立ち向かい、責任のある言動を日常生活の中で実践する心を育む。	自分らしさについて考えを深め、社会の中でたくましく生きる力を育む。 さらに、トランスジェンダーとして活躍されている方を講師として招へいし、実際に話を聞くことで学習のまとめとする。	全8回 ・他者尊重 ・アサーショントレーニング ・コミュニケーション能力 ・SNSの扱い ・想像力を高める ・マンダラチャート ・メタ認知についてなどについて学習を進める。